

視察園概要

1

視察場所：栗原市金成字金生 19-1
JBC東北食菜センター
代表 永田 ユキオ氏（40才）
TEL：080-3141-0267
家族構成：妻、長男

1. 経営内容

①就農時：（平成22年）

露地野菜＋水稻

畑65a（借地）、水田98a

チンゲンサイ、レタス、はくさい、こまつな 等

②現在：露地野菜＋施設野菜＋水稻

畑100a（借地）、施設1,480㎡（9棟）

水田 3.5ha

作付品目：年間 25品目

（露地）はくさい、たまねぎ、だいこん、じゃがいも、にんじん、なす、ミニトマト、ピーマン、きゅうり、ズッキーニ、しゅんぎく、モロヘイヤ 等

（施設）チンゲンサイ、こまつな、ほうれんそう、つぼみな、トマト、にんじん、レタス、みずな、しゅんぎく、なす、ピーマン、ケール、ビーツ、バジル、かぶ、イタリアンパセリ、コリアンダー 等



2. 就農するまでの経過

ブラジル出身（母がブラジル人、父が日本人）の日系二世ブラジル人。もともと農業機械を販売する会社に勤務し、来日する。

妻の聖子さんと知り合い結婚後、栗原市に農地を取得し、就農する。

※ミニ知識

ブラジルは、コーヒー、オレンジ、サトウキビ、大豆、トウモロコシなどの生産が盛んです。



3. 経営の特徴

- ・農薬や化学肥料を一切使用せず、遺伝子組み換え技術を利用しない有機農業に取り組んでいる。「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」に登録。現在は、有機JAS（日本農林規格）の認定取得に向け準備中。
- ・具体的には、コンパニオン・プランツ（共栄作物）を取り入れるなど、他種類の作物を栽培することで病気や害虫を防いだり、有機肥料や酵素を活用して植物の力を生かした栽培を行っている。

4. 労働力

2人（本人、妻） 雇用なし



5. 出荷販売先

- ・県内量販店（みやぎ生協、イオンスーパーセンター、ビックハウス他）。
- ・米については、本年度より、JA系統での販売予定。

※当初、関東方面への宅配主体に計画したが、震災後の原発事故の影響で、出荷ができなくなった。

6. 新規参入希望者へ一言

「

」